

平成30年度
原子力施設等防災対策等委託費
(高度被ばく医療支援センター及び原子力災害
医療・総合支援センター業務の実施)
事業

成果報告書

平成31年3月
国立大学法人 弘前大学

本報告書は、原子力規制委員会原子力規制庁の平成30年度原子力施設等防災対策等委託費による委託事業として、国立大学法人弘前大学が実施した平成30年度「高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センター業務の実施」の成果を取りまとめたものです。

目 次

第1章	はじめに	1
第2章	体制の整備・維持	2
2.1	事務局長の取組	2
2.2	診療体制等の整備	2
2.3	「専門派遣チーム」及び「原子力災害医療派遣チーム」の配置等	4
2.4	「原子力災害医療派遣チーム」の派遣調整体制の整備	4
第3章	教育研修・訓練	5
3.1	自施設職員への基礎研修の実施	5
3.2	「原子力災害医療派遣チーム」の構成員等への教育研修等	6
3.3	自施設職員への定期訓練の実施	7
3.4	「原子力災害医療派遣チーム」の派遣調整訓練等	8
3.5	高度・専門的な教育研修の実施	9
3.6	国及び地域の原子力災害防災訓練等への参加及び助言・指導	14
第4章	原子力災害医療関係者のネットワークの構築	18
4.1	地域の原子力災害医療関係者のネットワークの構築	18
4.2	全国の原子力災害医療関係者のネットワークの構築	19
4.3	原子力災害医療専門家のネットワークの構築	20
4.4	地域ネットワーク構築支援	20
4.5	原子力災害医療派遣チームのネットワークの構築	23

(空 白)

第1章 はじめに

弘前大学は、多様な原子力関連施設を擁する地域的な背景を踏まえ、東日本大震災前の平成20年4月から被ばく医療体制の整備及び被ばく医療に関わる教育・研究並びに人材育成に取り組んできた。

平成22年3月に被ばく医療教育研究施設として、放射線生物学部門、放射線物理学部門、放射線化学部門及び被ばく医療学部門の4つの部門からなる被ばく医療総合研究所を設置した。加えて、平成22年4月には医学部附属病院に、被ばく傷病者専用の初療室を始めとし、体表面モニタやホールボディカウンター、甲状腺モニタ等の計測機器や内部被ばくを評価する化学分析室を備えた高度救命救急センターを設置する等、被ばく医療のバックアップ体制の整備を進めてきた。

これらの取組は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故対応において、避難所での支援活動や様々な学術調査、情報発信等、多くの貢献につながった。

また、平成22年度から平成26年度まで、文部科学省科学技術戦略推進費による「地域再生人材創出拠点の形成」事業において、国の原子力政策における危機管理対策の一環として、被ばく医療に関わる高度な専門的知識、能力や技術を有する人材を育成し、医療、教育・研究及び行政機関等において、被ばく医療に対応できる体制を構築するため、「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」を実施した。プロジェクトの事後評価では、所期の計画を超えた取組が行われているとされ「S」評価を受けた。さらに、国立大学法人評価委員会より、第2期中期目標期間の業務の実績について、緊急被ばく医療を担う地域の求める特色ある人材の養成を目指した戦略的・意欲的な計画を定めて積極的に取り組んでいるとの評価を各事業年度において受けた。

その後、国の原子力災害対策指針が改正され、原子力災害時及び平常時における被ばく医療体制が大きく見直されることとなり、弘前大学は、これまでに培われた人的、組織的及び学術的資源をもとに、平成27年8月に原子力規制委員会から原子力災害医療に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の指定を受けるに至った。

本事業は、原子力規制委員会により「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」に指定された弘前大学が、「原子力災害医療体制」の構築等に向け、センター運営に係る人材育成・施設維持、高度・専門的な教育研修等を実施するものである。

第2章 体制の整備・維持

2.1 事務局長の取組

「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」業務の事務を統括して行うことのできる常勤の事務局長を配置した。

事務局長は、平成30年度に原子力規制庁が6回開催した全事務局長会議に出席し、原子力規制庁への支援センター活動状況の報告、施設要件の見直しに関する意見交換、高度・専門研修実施に係る打合せ等を行った。また、事務局長会議開催前後に各支援センター事務局長のみによる意見交換会に参加し、支援センター間の連携強化、情報共有を行った。

担当地域の原子力災害拠点病院を含む関係機関等と緊密な連携を図るために、自治体・事業者等を訪問し、情報収集・意見交換の実施や担当地域実施の原子力防災訓練の調整会議及び本訓練等への参加、各担当地域開催のネットワーク会議へオブザーバーとして出席した。

他支援センター主催の地域原子力災害医療連携推進協議会にオブザーバーとして参加し、各支援センター担当地域の課題の把握、情報交換等を行った。

さらに今年度は、全国（立地道府県等）の原子力災害医療関係者、原子力災害専門家の人的ネットワークを構築し、連携を推進・強化する目的で行う全国原子力災害医療連携推進協議会の開催事務局長として運営を統括した。

地域の原子力災害医療関係者同士の人的ネットワークを構築し、情報共有・交換を行うための地域原子力災害医療連携推進協議会は、平成30年7月宮城県で開催し、運営統括を行った。

高度・専門的な教育研修の実施に関する情報収集のため、他の支援センターが開催する原子力災害時医療中核人材研修へオブザーバー参加し、全6回終了後の研修ふり返りにも参加した。

2.2 診療体制等の整備

(1) 緊急時通信機器等の維持管理

災害時用通信手段として整備した衛星携帯電話・衛星ブロードバンドシステム（IPSTAR）・衛星電話用Wi-Fiルーター（医療派遣チーム活動時用）等の維持管理を行った。また、統合原子力防災ネットワークシステムは、原子力規制庁及び他支援センターとの定期導通テストにて動作確認を行うとともに、本システムを利用し第2回、第3回の事務局長会議が行われた。

(2) 原子力規制庁・支援センター間の情報共有体制の構築

原子力規制庁及び支援センター間で情報や課題を共有・協議する場である高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センター事務局長会議は、平成30年5月、6月、8月、10月、12月及び平成31年3月（計6回）に行われた。会議ではセンター担当事業の進捗状況報告、各センター担当地区の原子力災害医療体制に関する整備状況報告に加え、施設要件の見直しに関する意見交換等を行った。

<平成30年度支援センター事務局長会議>

○第1回 支援センター事務局長会議

開催日：平成30年5月22日（火）

場 所：原子力規制庁

出席者：支援センター長、事務局長、教員（放射線科学）1名

○第2回 支援センター事務局長会議（TV会議）

開催日：平成30年6月26日（火）

場 所：弘前大学

出席者：事務局長、教員（放射線科学）1名

○第3回 支援センター事務局長会議（TV会議）

開催日：平成30年8月9日（木）

場 所：弘前大学

出席者：事務局長、教員（放射線科学）1名

○第4回 支援センター事務局長会議

開催日：平成30年10月18日（木）

場 所：原子力規制庁

出席者：支援センター長、事務局長、教員（放射線科学）1名

○第5回 支援センター事務局長会議

開催日：平成30年12月21日（金）

場 所：原子力規制庁

出席者：事務局長、事務職員1名

○第6回 支援センター事務局長会議

開催日：平成31年3月13日（水）

場 所：原子力規制庁

出席者：事務局長、教員（放射線科学）1名

2.3 「専門派遣チーム」及び「原子力災害医療派遣チーム」の配置等

「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の施設要件として求められる「専門派遣チーム」及び「原子力災害医療派遣チーム」として出動可能な人員を確認し、国及び自治体並びに原子力災害拠点病院等の医療機関からの要望に応じた編成ができるよう体制を整えた。

また、「専門派遣チーム」及び「原子力災害医療派遣チーム」の体制維持のため、使用資機材の追加整備、測定機器類の保守整備を行った。「原子力災害医療派遣チーム」移動用ドクターカーを管理運用するとともに、両派遣チームが派遣時に使用するサーベイメータを追加整備した。また、保有中の個人線量計、放射線測定器及び解析機器等の維持管理のため、保守点検・校正を行った。

点検・校正実施の個人線量計・放射線測定器・解析機器等一覧

品名	数量
個人線量計各種	154
サーベイメータ各種	54
汚染モニタ類	11
放射線測定器各種	16
核種分析装置等	10
 <p>β線用GMサーベイメータ (TGS-1146)</p>	 <p>γ線用シンチレーションサーベイメータ (TCS-1172)</p>
平成30年度に追加整備したサーベイメータ	

2.4 「原子力災害医療派遣チーム」の派遣調整体制の整備

原子力災害発生時の「原子力災害医療派遣チーム」の派遣調整及び活動支援の実施に備え、担当地域自治体及び原子力災害拠点病院等と「原子力災害医療派遣チーム」の整備状況について意見交換等を行った（後述 第4章4.4参照）。

第3章 教育研修・訓練

3.1 自施設職員への基礎研修の実施

放射線及び放射線影響に関する基本的知識や放射線測定器の取り扱い方法を習得させることを目的として、弘前大学医学部附属病院に勤務する医療職者、事務職員、外部委託事務職員及び弘前大学大学院保健学研究科教職員を対象に、平成30年7月12日（木）及び平成31年2月26日（火）の計2回、「原子力災害時医療に関する基礎研修」を実施した。

<自施設職員への基礎研修実施状況>

○原子力災害時医療に関する基礎研修（平成30年度第1回）

実施日：平成30年7月12日（木）

場 所：医学部臨床大講義室

○原子力災害時医療に関する基礎研修（平成30年度第2回）

実施日：平成31年2月26日（火）

場 所：医学部臨床大講義室

平成30年度原子力災害時医療に関する基礎研修受講者内訳

職 名	医師・教員	看護師・助産師・保育士	その他 医療従事者	事務系役職員 (外部委託含)	各回合計
第1回	133	133	16	35	317
第2回	51	82	15	19	167
職名別合計	184	215	31	54	484



原子力災害時医療に関する基礎研修（平成30年度第1回）

- 平成30年度タイベック着脱訓練
実 施：平成30年6月～9月
場 所：高度救命救急センター
受講者：高度救命救急センター所属看護師のべ29名

3.2 「原子力災害医療派遣チーム」の構成員等への教育研修等

「原子力災害医療派遣チーム」構成員並びに原子力災害時の医療対応技能保持者増員及び各種情報収集のため、放射線や災害対応に関連する会議や学会、研究会等へ参加した。

<放射線及び災害対応に関連する会議や学会、研究会等への参加状況>

- The 3RD Asian WHO/REMPAN Workshop
実施日：平成30年5月16日（水）～平成30年5月17日（木）
場 所：韓国原子力医学院
参加者：教員（放射線科学）2名

- 第31回福島災害医療セミナー（被ばく医療基礎コース）
実施日：平成30年6月8日（金）～平成30年6月10日（日）
場 所：公立大学法人福島県立医科大学
参加者：診療放射線技師1名

- 日本保健物理学会第51回研究発表会
実施日：平成30年6月28日（木）～平成30年6月30日（土）
場 所：ホテルライフオート札幌
参加者：教員（放射線科学）1名

- 一般緊急自動車運転技能者研修
実施日：平成30年8月27日（月）～平成30年8月28日（火）
場 所：自動車安全運転センター安全運転中央研修所
参加者：事務職員1名

- 平成30年度第2回青森県中央病院原子力災害医療研修会
実施日：平成30年8月30日（木）
場 所：青森県立中央病院救命救急センター2階
救急訓練スペース1
参加者：事務局長

- 日本放射線事故・災害医学会第6回学術集会
 実施日：平成30年9月22日（土）
 場 所：東海村産業・情報プラザ“アイヴィル i V i l”
 参加者：教員（放射線科学）1名

- 平成30年度青森県立中央病院 原子力災害医療基礎研修会
 実施日：平成30年11月9日（金）
 場 所：ねぶたの家ワ・ラッセ交流学習室1及び2
 参加者：医師1名、教員（放射線科学）1名、事務局長、事務職員1名

- 第33回福島災害医療セミナー（上級コース）
 実施日：平成31年2月6日（水）～平成31年2月8日（金）
 場 所：公立大学法人福島県立医科大学
 参加者：診療放射線技師1名

- シンポジウム「原子力事故後の甲状腺健康モニタリングの在り方について
 ～WHO国際がん研究機関の報告より～」
 実施日：平成31年3月7日（木）
 場 所：東京国立近代美術館地下1階講堂
 参加者：教員（放射線科学）3名

- 弘前大学浪江町復興支援活動成果報告会
 実施日：平成31年3月9日（土）
 場 所：浪江町役場 3階 会議室
 参加者：事務局長

- 第24回日本災害医学会総会・学術大会
 実施日：平成31年3月18日（月）～平成31年3月20日（水）
 場 所：米子コンベンションセンタービッグシップ、米子市文化ホール
 参加者：医師、教員（放射線科学）3名、教員（放射線看護学）1名、
 事務職員2名

3.3 自施設職員への定期訓練の実施

平成30年度は、担当地域である青森県及び宮城県主催の原子力防災訓練へ自施設職員の実地訓練を兼ねて計画段階から参画した。

青森県原子力防災訓練は、本訓練（平成30年11月10日～11日）に先立ち、

1 1月6日原子力災害拠点病院である青森県立中央病院にて傷病者受入・搬送訓練が行われ、本学の原子力災害医療派遣チームは災害対策本部との連絡・調整、受入時の動線指導等を行い、本学の専門家は傷病者受入時の放射線管理に関する助言を行った。また、本学支援センターでは、訓練シナリオと連動し青森県・支援センター間の通信訓練、原子力災害医療派遣チーム及び専門派遣チームの派遣調整訓練、支援センター事務職員による両派遣チーム出動支援訓練を実施した。

平成30年11月10日～11月11日に行われた本訓練においては、11月11日六ヶ所村立南小学校にて実施の避難退域時検査及び簡易除染訓練へ本学の専門派遣チームが参加し、検査動線・検査手順の検証の際に助言する役割を担当した。

平成31年1月24日宮城県原子力防災訓練では、宮城県からの派遣要請を受け、本学の原子力災害医療派遣チームは東北大学病院へ派遣出動し、医療支援活動を行った。

原子力災害医療派遣チーム及び専門派遣チーム参加訓練

担当地域	実施日	名 称	原子力災害医療派遣チーム	専門派遣チーム
青森県	平成30年11月6日	平成30年度青森県原子力防災訓練 (傷病者受入・搬送訓練)	5名	2名
青森県	平成30年11月11日	平成30年度青森県原子力防災訓練 (避難退域検査及び簡易除染訓練)	-	2名
宮城県	平成31年1月24日	平成30年度宮城県原子力防災訓練 (汚染傷病者搬送訓練)	5名	-

3.4 「原子力災害医療派遣チーム」の派遣調整訓練等

自施設における派遣調整訓練として、平成30年度青森県原子力防災訓練において、本学の原子力災害医療派遣チームの派遣調整訓練を実施した。さらに、平成30年度宮城県原子力防災訓練において、本学の原子力災害医療派遣チーム及び青森県の原子力災害拠点病院である青森県立中央病院の原子力災害医療派遣チームの派遣調整訓練を実施した。

特に、宮城県原子力防災訓練において県外への派遣要請は初めての試みであり、また本学及び青森県立中央病院の原子力災害医療派遣チームの実動参加も初めてであった。

平成30年度宮城県原子力防災訓練における原子力災害医療派遣チームの状況

チーム所属先	派遣先	チーム構成
弘前大学 原子力災害医療・総合支援センター	東北大学病院	医師：1名 看護師：2名 放射線管理員：2名 業務調整員：1名（兼任）
青森県立中央病院	仙台医療センター	医師：1名 看護師：2名 放射線管理員：2名

3.5 高度・専門的な教育研修の実施

(1) 原子力災害拠点病院の中核人材等に対し行う高度・専門的な教育研修

平成30年度は、全国5箇所の高度被ばく医療支援センターが実施する全6回の原子力災害時医療中核人材研修のうち、第四回目を担当した。

○平成30年度第四回原子力災害時医療中核人材研修

実施日：平成30年11月14日（水）～11月16日（金）

場 所：弘前大学 保健学研究科 F棟 1階・2階・5階

医学部附属病院 高度救命救急センター 地下1階

対象者：原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院の医師、看護師、診療放射線技師等

受講者数：20名（医師2名、看護師7名、診療放射線技師8名、その他医療従事者及び事務職員3名）



11月14日（水）第四回原子力災害時医療中核人材研修（研修1日目）



11月14日（水）第四回原子力災害時医療中核人材研修（研修1日目）
計測実習



11月15日（木）第四回原子力災害時医療中核人材研修（研修2日目）
除染実習・養生実習・受入実習



11月10日（金）第四回原子力災害時医療中核人材研修（研修3日目）
机上演習

(2) 原子力災害医療派遣チームが派遣先で活動するために必要な高度・専門的な教育研修

平成30年度は担当地域である北海道、青森県、宮城県の原子力災害拠点病院にて原子力災害医療派遣チーム専門研修を実施した。

①宮城県原子力災害医療派遣チーム専門研修

実施日：平成30年9月22日（土）

場 所：仙台医療センター 外来診療・管理棟3階

時 間：8時55分～17時

受講者数：14名（医師5名、看護師4名、診療放射線技師3名、事務職員2名）



除染実習



養生実習



傷病者受入実習（本部対応）



傷病者受入実習（医療処置）

9月22日宮城県原子力災害医療派遣チーム専門研修

②青森県原子力災害医療派遣チーム専門研修

実施日：平成30年9月28日（土）

場 所：青森県立中央病院 救命救急センター2階 救急訓練スペース

時 間：8時55分～17時

受講者数：8名（医師2名、看護師3名、診療放射線技師3名）



除染実習



計測実習



傷病者受入実習（本部対応）



傷病者受入実習（医療処置）

9月28日青森県原子力災害医療派遣チーム専門研修

③北海道原子力災害医療派遣チーム専門研修

実施日：平成30年10月2日（火）

場 所：北海道大学病院 臨床研究棟1階 大会議室

時 間：8時55分～17時

受講者数：5名（医師2名、看護師2名、診療放射線技師1名）



除染実習



防護装備着用実習



傷病者受入実習（本部対応）



傷病者受入実習（医療処置）

10月2日北海道原子力災害医療派遣チーム専門研修

3.6 国及び地域の原子力災害防災訓練等への参加及び助言・指導

担当地域の北海道、青森県、宮城県主催の原子力防災訓練等の全体連絡及び調整会議に出席し、訓練等に対する助言・指導を行った。また、青森県及び宮城県主催の原子力防災訓練に原子力災害医療派遣チームが参加した。平成30年10月22日実施の平成30年度北海道原子力防災訓練（傷病者搬送訓練）には、本学の原子力災害医療派遣チームメンバーが訓練の振り返りに参加し、助言・指導を行った。

平成30年8月26日実施の大飯発電所及び高浜発電所を対象とした内閣府主催原子力総合防災訓練（福井県、京都府、滋賀県）には、本学の原子力災害医療派遣チームメンバーが評価者として参加した。

< 訓練調整会議等出席状況 >

- 青森県原子力災害医療訓練（傷病者受入・搬送訓練）に係る打合せ会議
開催日：平成30年6月11日（月）
場 所：青森県庁北棟7階健康福祉部会議室（青森県）
出席者：医師1名、教員（放射線科学）1名、事務局長

- 平成30年度青森県原子力防災訓練に係る第1回調整会議
開催日：平成30年7月17日（火）
場 所：ホテル青森 孔雀の間（青森県）
出席者：教員（放射線科学）1名、事務局長

- 平成30年度原子力総合防災訓練に係る打合せ
開催日：平成30年7月26日（木）
場 所：ANAクラウンプラザホテル福岡2階 コーラル（福岡県）
出席者：教員（放射線科学）1名、事務局長

- 第1回宮城県原子力防災訓練関係機関全体会議
開催日：平成30年8月8日（水）
場 所：パレス宮城野2階はぎの間（宮城県）
出席者：事務局長

- 北海道原子力防災訓練打合せ
開催日：平成30年8月23日（木）
場 所：北海道庁（北海道）
出席者：教員（放射線科学）1名、事務局長

- 第2回宮城県原子力防災訓練関係機関全体会議
開催日：平成30年9月13日（木）
場 所：TKPガーデンシティ仙台勾当台 ホール1（宮城県）
出席者：教員（放射線科学）1名、事務局長

- 青森県原子力防災訓練 避難退域時検査訓練に係る事前打ち合わせ
開催日：平成30年11月9日（金）
場 所：青森県庁東棟4階E会議室（青森県）
出席者：教員（放射線科学）1名

- 宮城県原子力防災訓練に係る医療派遣チーム派遣調整に関する打合せ
開催日：平成30年12月10日（月）

場 所：青森県庁、青森県立中央病院 （青森県）
出席者：事務職員 1 名

○平成30年度宮城県原子力防災訓練打合せ

開催日：平成31年1月15日（火）

場 所：東北大学病院 （宮城県）

出席者：事務職員 1 名

開催日：平成31年1月15日（火）

場 所：仙台医療センター （宮城県）

出席者：医師（青森県立中央病院） 1 名、事務職員 1 名

<国及び立地道府県等開催訓練参加状況>

○平成30年度原子力総合防災訓練

開催日：平成30年8月26日（日）

場 所：高島市民病院 （滋賀県）

参加者：医師 1 名、教員（放射線看護学・看護師） 1 名、教員（放射線科学・
診療放射線技師兼業務調整員） 1 名

○平成30年度北海道原子力防災訓練（傷病者搬送訓練）

開催日：平成30年10月22日（月）

場 所：札幌医科大学 （北海道）

参加者：医師 1 名、看護師 1 名、診療放射線技師 1 名、業務調整員 1 名

○平成30年度青森県原子力防災訓練（傷病者受入・搬送訓練）

開催日：平成30年11月6日（火）

場 所：青森県立中央病院 （青森県）

参加者：医師 1 名、看護師 1 名、診療放射線技師 2 名、業務調整員 1 名、
教員（放射線科学） 2 名

○平成30年度青森県原子力防災訓練（避難退域時検査及び簡易除染訓練）

開催日：平成30年11月11日（日）

場 所：六ヶ所村立南小学校 （青森県）

参加者：教員（放射線科学） 2 名

○平成30年度宮城県原子力防災訓練（汚染傷病者搬送訓練）

開催日：平成31年1月24日（木）

場 所：東北大学病院 （宮城県）

参加者：医師 1 名、看護師 2 名、診療放射線技師 1 名、
診療放射線技師兼業務調整員 1 名

第4章 原子力災害医療関係者のネットワーク構築

4.1 地域の原子力災害医療関係者のネットワークの構築

地域の原子力災害医療関係者同士の人的ネットワークを構築し、情報交換等を行うための会合として、平成30年7月9日～7月10日、宮城県仙台市において地域原子力災害医療連携推進協議会（弘前大学担当地区）を開催した。

開催日：平成30年7月9日（月）～7月10日（火）

場 所：仙台ガーデンパレス2階「鳳凰」

出席者：60名（担当自治体及び原子力災害拠点病院、関係省庁、事業者、支援センター）

<議事概要>

平成30年7月9日（月）

1. 情報提供

- ・弘前大学の取り組み
- ・「原子力災害対策指針」及び「原子力災害拠点病院等の施設要件」の改正について
- ・平成30年度放射線安全研究戦略的推進事業の紹介等について
- ・原子力災害医療に関わる基礎研修eラーニングの利用状況
- ・福島県における県民健康調査について

2. 情報提供

- ・平成29年度北海道原子力防災訓練
- ・青森県の原子力災害医療体制等について
- ・災害対策マニュアルでは想定していなかった問題と対応

平成30年7月10日（火）

3. 現状と課題

- ・各自治体及び原子力災害拠点病院からの承合事項について

4. 意見交換



地域原子力災害医療連携推進協議会（弘前大学担当地区）

4.2 全国の原子力災害医療関係者のネットワークの構築

全国（24 立地道府県等）の原子力災害医療関係者、原子力災害医療専門家の人的ネットワークを構築し、連携を促進・強化するための会合として、平成31年1月31日東京都において全国原子力災害医療連携推進協議会を開催した。

開催日：平成31年1月31日（木）

場 所：富士ソフトアキバプラザ5F アキバホール

出席者：143名（立地道府県自治体及び原子力災害拠点病院、関係省庁等、事業者、支援センター）

<議事概要>

セッションⅠ『原子力災害対策指針，原子力災害拠点病院等の施設要件の改正に伴う今後の原子力災害医療体制について』

- 改正の概要（基幹高度被ばく医療支援センターの役割について）
- 研修体系化案について
- バイオアッセイ法について

セッションⅡ『原子力災害医療に関わる取組について』

- 平成30年度原子力総合防災訓練について
- 原子力災害医療派遣チームの補償について
- 弘前大学の取組について
- 内閣府からの情報提供

パネルディスカッション



4.3 原子力災害医療専門家のネットワークの構築

原子力災害医療や線量評価の専門家同士の人的ネットワークの構築強化や、情報交換等のため、地域原子力災害医療連携推進協議会及び全国原子力災害医療連携推進協議会を開催するとともに、他センター開催等の会合に参加及び運営に協力した。

<専門家ネットワーク構築に向けた会合の開催及び参加状況>

○第一回染色体ネットワーク会議

開催日：平成30年7月4日（水）

場 所：31 B u i l e d g e Y A E S U 会議室C

出席者：教員（放射線科学）1名

○原子力災害医療支援センター長会議

開催日：平成30年9月5日（水）

場 所：福島大学 環境放射能研究所 本棟2階 A206会議室

出席者：支援センター長、事務局長

○放射線影響研究機関協議会第13回運営会議

開催日：平成30年9月5日（水）

場 所：福島大学 環境放射能研究所 本棟6階大会議室

出席者：支援センター長、事務局長、事務職員1名

○第二回染色体ネットワーク会議

開催日：平成30年12月11日（火）

場 所：量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 研修棟3階会議室

出席者：教員（放射線科学）2名

○原子力災害医療ネットワーク会議

実施日：平成31年3月12日（火）

場 所：フクラシア丸の内オアゾ

参加者：医師1名、教員（放射線看護学、放射線科学）2名、事務局長

4.4 地域ネットワーク構築支援

担当地域主催のネットワーク会議等の運営に協力及び参加し、ネットワーク構築強化に向け助言するとともに自治体や原子力災害拠点病院及び事業者等と意見交換を行った。（2.4との重複有り）

<担当地域ネットワーク会議等参加及び意見交換等状況>

○日本原燃株式会社との意見交換

実施日：平成30年4月9日（月）
場 所：日本原燃株式会社（青森県）
参加者：教員（放射線科学）2名、事務局長、事務職員1名

○青森県庁との意見交換

実施日：平成30年4月16日（月）
場 所：弘前大学放射線安全総合支援センター事務局（青森県）
参加者：事務局長、事務職員1名

○北海道庁、北海道大学病院、札幌医科大学、北海道電力（株）との意見交換

実施日：平成30年4月17日（火）～平成30年4月18日（水）
場 所：北海道庁、北海道大学病院、札幌医科大学、
北海道電力（株）（北海道）
参加者：事務局長、事務職員1名

○八戸市立市民病院、宮城県庁、東北大学病院、仙台医療センター、石巻赤十字病院との意見交換

実施日：平成30年4月23日（月）～平成30年4月25日（水）
場 所：八戸市立市民病院（青森県）
宮城県庁、東北大学病院、仙台医療センター、
石巻赤十字病院（宮城県）
参加者：事務局長、事務職員1名

○青森県立中央病院との意見交換

実施日：平成30年4月27日（金）
場 所：青森県立中央病院（青森県）
参加者：事務局長、事務職員1名

○平成30年度第1回宮城地区原子力災害医療ネットワーク会議（本会議）

開催日：平成30年7月11日（水）
場 所：TKP仙台カンファレンスセンター ホール3A（宮城県）
出席者：事務局長

○平成30年度第1回宮城地区原子力災害医療ネットワーク会議（専門部会）

開催日：平成30年8月29日（水）
場 所：宮城県庁第1会議室（宮城県）
出席者：事務局長

- 平成30年度第2回宮城地区原子力災害医療ネットワーク会議（専門部会）
開催日：平成30年10月25日（木）
場 所：宮城県庁第1会議室（宮城県）
出席者：事務局長

- 平成30年度第3回宮城地区原子力災害医療ネットワーク会議（専門部会）
開催日：平成30年12月20日（木）
場 所：宮城県庁第1会議室（宮城県）
出席者：事務局長

- 平成30年度北海道地区原子力災害医療ネットワーク協議会
開催日：平成31年1月16日（水）
場 所：TKP札幌ビジネスセンター カンファレンスルーム9A
（北海道）
出席者：教員（放射線科学）1名、事務局長

- 平成30年度第2回宮城地区原子力災害医療ネットワーク会議（本会議）
開催日：平成31年2月5日（火）
場 所：TKP仙台カンファレンスセンター ホール2B（宮城県）
出席者：事務局長

- 平成30年度青森県原子力災害医療地域連携ネットワーク会議
開催日：平成31年2月27日（水）
場 所：青森県立中央病院3階大会議室（青森県）
出席者：医師、教員（放射線科学）1名、事務局長

- むつ総合病院との意見交換
開催日：平成31年2月28日（木）
場 所：むつ総合病院（青森県）
参加者：教員（放射線科学）1名、事務局長

- 日本原燃株式会社との意見交換
実施日：平成31年3月26日（火）
場 所：日本原燃株式会社（青森県）
参加者：事務局長

- 平成30年度青森県原子力医療対策専門部会
開催日：平成31年3月27日（水）

場 所：アラスカ 地下1階 サファイア （青森県）

出席者：副センター長（原子力災害医療・総合支援センター担当）、医師1名、
教員（放射線科学）1名、事務局長

4.5 原子力災害医療派遣チームのネットワークの構築

担当地区等の原子力災害医療派遣チームのネットワークの構築のため、原子力災害医療派遣チーム専門研修及び担当地域の原子力防災訓練等に原子力災害医療派遣チームのメンバーが参加し、チーム間の情報交換や課題の共有を行った。